



区議会第三回定例会 公明党を代表して全力で本会議質問!



代表質問をする 竹平ちはる区議

令和2年区議会第三回定例会で竹平ちはる区議は公明党を代表して質問をしました。その中で新型コロナウイルス感染症対策として、施設巡回PCR検査の導入を提案した他、中小企業への支援充実や水害対策等の重要課題に言及。斉藤区長から前向きな答弁を引き出しました。以下、質疑の一部を報告します。

竹平質問が実現!

東京23区初!バスで「施設巡回PCR検査」を実施!

Q 要介護者や障害のある方など検査が困難な場合もあるため、施設に出向いて検査が出来るようにすべきだ。府中市のPCR検査センターでは移動可能な医療用バスが導入されている。このような稼働力のある検査車両によるPCR検査の拡充について区長の所見を伺う。

A 検査車両も活用し、高齢者施設や障害者施設、保育園、幼稚園、学校等、感染拡大しやすい職場を中心に検査をし、検査施設に行くのが困難な方も状況に合わせて対応していく。



区内の介護施設で回収した検体を確認する医療スタッフ



11月から江戸川区内の施設を巡回しているバス

竹平質問が実現!

区の中小企業への融資制度の受付を来年3月迄延長!

Q コロナ禍による中小企業への影響は大きい。業況は悪化傾向が強まり売上額や収益は大きく減少している。今後の区の融資はどのように考えているのか。

A 本区では資金繰りの支援や固定費相当分の支援のため、独自の融資制度を設けているが、経営の回復や安定化にはしばらく時間がかかる。なるべく多くの方々に融資制度を利用いただくため受付期間を来年3月末まで延長する。
(斉藤区長の第4回定例会招集挨拶2020.11.24)



竹平質問が実現!

水害時の避難場所として都営住宅の空き部屋を活用!

Q 水害時の最後の避難手段である垂直避難場所として都営住宅の空き部屋や民間施設などを活用すべき。

A 垂直避難として都営住宅の空き部屋や民間宿泊施設を活用できるよう、東京都とは今年度内、民間ホテル5施設とは近々、災害協定を締結する予定である。

